

国際学部 二年 吉田真子

アメリカ留学での体験

今回、私はアメリカへ留学する機会を設けてもらい、とても感謝しています。最初は不安いっぱいアメリカでの授業やテストについて行けるか心配でした。ですが、周りにいた先生や国際情報の友達や国籍の違う、中国、韓国、サウジアラビアの仲間にもたくさんお世話になって、たくさん助けてもらったことがありました。

留学前は、アメリカに対してアメリカの人は冷たいのではないかと、治安が悪いのではないかと考えていました。しかし、アメリカへ行ってみると、人の温かみをととも感じました。例えば、アメリカの男性はレディファーストで扉を積極的に開けて先に女性を通してくれたり、アメリカの人とすれ違う時に目が会うと知らない人でもニコリ笑顔を見せて挨拶を交わしてくれたり、人とぶつかりそうになったらExcuse me と言声を掛けていたりしてわたしはとても感心しました。他にもアメリカ人のひとの良さを感じる場面がいくつかありました。そういったところで日本との違いに気付きました。日本はおもてなしの国で有名ですが、アメリカも立派なおもてなしの国なのではないでしょうか。

文化といえば、アメリカの食文化が気になったところです。アメリカへ行く前は食べ物の大きさは日本の大きさと比べ物にならないくらい量が多いのだろうと思っていましたが、行ってみると、やはり食べ物の量が多くてびっくりしました。

アメリカの人は簡単に食べられるのだろうと思っていましたが、食べ残す人も多くて意外でした。日本では、ご飯の量が多いわけではないので食べ残すという事をする人はなかなかいないと思います。ですが、アメリカでは食べきれなかった食べ物をボックスに入れて持ち帰れる人がほとんどでした。しかも、そのボックスは頼めばタダでくれます。食文化の違いがこんなにもあるとは思っていませんでした。FISファミリーの家でThanksgiving Holidayの間に5日間泊まらせていただきました。私のFISファミリーの方は旦那さんと奥さん二人でした。5日間とても善くしていただき、感謝でいっぱいです。ご夫婦二人には、親戚の方がたくさんいて、私は親戚の方たちからも善くしていただきました。一緒に5日間過ごしてとても楽しかったです。滞在している期間もたくさんの文化を学ぶ機会がありました。Thanksgiving Dayには教会へ行かせてもらいました。初めての経験ばかりでとても素晴らしい経験が出来ました。

最初は英語で話す事が出来なくて、相手の言っている事が分からなくてとても不安でしたが、授業や日常の会

話で失敗を恐れずに話す事が大事だと気付きました。そのおかげで、たくさんの人と話して、自分自身が話す英語が相手に伝わるもっと話せるようになりたいという向上心が芽生えてきました。私は留学を通して新たな自分も見つけることができました。

